



文責 本宮小校長 佐久間仁

就学時健康診断II

就学時健康診断では、学校と家庭が連携して健康教育を推進するためにメディアコントロール力の育成について講話を行いました。

《校長講話(概要)》

○スマホが脳に与える影響

- ・ 十代の三人に一人がベッドにスマホを持ち込み、その多くが睡眠障害を抱えている。
- ・ スマホを全く使用しないグループとアプリを長時間使うグループでは学力テストで大きな差が出た。
- ・ タブレットを毎日使いこんでいる子は脳の体積増加がゼロになる。
- ・ 音楽や動画などを視聴しながら学習すると、脳に悪影響を与える。
- ・ スマホを持ったままテストを受けた子とスマホを別の部屋に置いて受けた子では、スマホを持っていないグループの成績が良かった。

○ネット、SNS利用の実態

- ・ 三時間以上利用している子どもが増加傾向にある。利用の長時間化に伴う生活習慣の乱れが心配。
- ・ フィルタリング機能を設定していない家庭が全体の三分の一ほど。
- ・ ルールを守らない子も全体の三分の一ほどみられる。家庭内での定期的な話し合いとフィルタリングの確実な設定が望まれる。
- ・ 保護者自身が積極的に学び、適切なインターネット利用を心がけ、よい手本となる必要がある。

○情報モラルをどう教えるか

- ・ 一人一台端末時代を迎え、今後は「トラブル」ベースの情報モラル教育だけでなく、「活用」ベースの情報モラル教育も大切。
- ・ 例えば、検索する場合、得られた情報は確かなものか、引用する場合、著作権は大丈夫か、発信では、誤解を招いたり人を傷つけたりする表現はないかなどに気を付けなければならない。



※家庭内でのルールづくりと定期的な話し合いをお願いします。

授業研究会



本宮市教育委員会の指導主事の先生を講師にお迎えして、授業研究会を行いました。

四年生が「倍の見方」の学習で、ムズモン（応用問題）に挑戦しました。これまで学んだ方法で、答えに辿り着けるか、自力で解いてみました。話し合いでは、友達と考えた方法を聞くことで、納得する姿がみられました。適用問題にも取り組んで、解き方が身に付いたか確認することもできました。みんなで作ることで、新たな気づきや発見があることを学んだ、有意義な時間でした。



栄光を讃えて



《安達地区児童作文コンクール》

〈作文の部〉

【特選】 *県出品

二年 河野 桐子 「ポップ」

五年 西 凱叶

「ほくの大切な一日」

【入選】

一年 五十嵐花咲

「おばあちゃんありがとう」

〈読書感想文の部〉

【入選】

一年 本多 佑奏

「わたしとおとこ」

二年 秋田 律

「さかなくん」を読んで

四年 小島 美来

「自分だけの大切な時間」

【不審者に注意】

○マチコミメールでもお知らせしましたように、学区内において、本校児童が声をかけられるという事案が発生しております。学校では、「いかのおすし」等を指導しています。ご家庭におかれましても、児童の安全確保のため、以下の点を再度ご指導くださいますようお願いいたします。

- ・ できるだけ「一人にならない」
- ・ 自分の身を守るために「逃げる」
- ・ 学校や警察に「連絡する」